

# 木くぼり

## 樹木の不思議 51



No.  
86

発行

'10-5月、6月合併号

株式会社 ナガイ内  
住まい教室 金谷教室

### モクレン科に見る白亜記の花の姿



シモクレン



ハクモクレン



コブシ



ユリノキ

モクレン科にはシモクレン、ハクモクレン、コブシ、ホオノキ、ユリノキなど花木や街路樹などに使われている種類がけっこうあるのでよくご存じのことと思います。一方これらの美しい花にどのような秘密が隠されているのか、知らない人が多いかもしれません。

一般に花といえば三枚とか五枚の決まった数のがく片、花弁と、多数の雄しべと、ただ一個の雌しべがあると思われているようですが、じつはモクレンの仲間に見られる花こそ被子植物の花の起源時の姿を今に伝えるものなのです。

被子植物の花の基本構成は、特殊化したシュート、すなわち、軸（茎）にらせん状に葉（普通葉）が配列しているものの変形と考えるわけです。花軸（花床）は茎と相同であり、それに生殖目的として特殊化した葉がらせん状に側生していると考えます。

小孢子葉が変形したものが雄しべです。細い糸の先に葯がついているという一般の雄しべとは大きく異なり、孢子葉に小孢子嚢が埋没しているわけです。同様に、胚珠を包む雌しべ（心皮）は大孢子葉に当たり、心皮の中央脈を中心に二つ折りになり、葉の縁が圧着されてはいるものの組織的には癒合していない状態です。

花弁が互いに合着すると合花弁になります。また、普通に見られる一個の雌しべというのはほとんどの場合に合生心皮で、じつは複数の心皮が互いに合着して一つの器官を構成しているわけです。

このようにモクレン科の花は被子植物が誕生した白亜紀のころの姿を今にとどめていると考えられています。

参考資料：「森の木の100不思議」、インターネット

## 島田市 Y邸 完成しました！

昨年12月に上棟しました島田市のY邸が、このたび完成しました。4月17、18日には、完成見学会も開催させて頂きました。2日間とも大盛況で、多くの皆様にY邸の素晴らしさを実感して頂くことができました。ありがとうございました。今月号よりY邸をご紹介します。



### 体感展示場まもなく完成します！

当社倉庫の2階に幾種類もの床材や天井板、珪藻土等の健康塗り壁、和紙などの自然素材を実際に建物に使用したところを実感できる「体感展示場」が、間もなく完成致します。カタログやサンプルでは、わかり難い素材も実際に見て、触れてご自分の五感で体感できます。



(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

<http://www.e-house.co.jp/nagai/>

メール [kk-nagai@po2.across.or.jp](mailto:kk-nagai@po2.across.or.jp)